



大手前丸亀中学校・高等学校同窓会
カエルの会(植物・昆虫愛好会)

開催報告:カエルの会・昆虫館めぐり(第1回)

◎日 時:平成29年8月26日(土)13:00~20:30

◎昆虫館:①東京大学総合研究博物館・スクールモバイルミュージアム「東大昆虫館」

②「虫の詩人の館フェアブル昆虫館」(文京区千駄木)

◎参加者:原田(4回生)、臼杵(5回生)、中條(21回生)、山本(40回生)〈敬称略〉(全4名)

今回は急な企画であった所為か、最終的に全4名と、小さな会合となった。しかし、名倉縦子さん(38回生)のご紹介により、生物部最後期の山本幸太郎さん(40回生)の参加を得ることができ、内容的には、非常に盛り上がりのある会合となった。

1. 「東大昆虫館」(文京区教育センター2F 大学連携事業室): 13:00~15:00

「東大昆虫館」は、東京大学総合研究博物館企画による6月10日~10月14日の期間限定のスクールモバイルミュージアム。昆虫標本等の一般展示に加え、6/24、7/4、7/29、8/26、9/30(全て土曜日)の5回は、昆虫学者による説明会もある。

① 昆虫標本の展示:



どこの昆虫館でもおなじみの昆虫標本展示ではあるが、展示室は広く、ゆっくりと見て回れた。話題の「ヒアリ」や、ブータンの秘蝶であり、国蝶でもある「ブ



ータンシボリアゲハ(Bhutanitis ludlowi Gabriel)」(2011にワンチュク国王から日本に寄贈)も展示されていた。

② 昆虫学者によるおはなし会:「虫にまつわる愉快なお話」(矢後勝也助教):



今回は、4回目のお話会で、矢後勝也助教による「虫にまつわる愉快なお話」。参加者は100人以上、その大半は小~中学生の「昆虫ものしり博士」と、その付き添いと思しき父兄達。「昆虫とは何か?」、「蝶と蛾の違い」、「昆虫の体の不思議」や「共生」等々、演者が仕組んだ子供の興味をそらさないトピックに、Q&Aの連発。「昆虫ものしり博士」の鼻高はさるものの、彼らの知識の広さや深さに、改めて感心させられた1時間でもあった。

2. 「虫の詩人の館ファーブル昆虫館」: 16:00~17:00

2つ目の昆虫館は、ファーブル昆虫館(文京区・千駄木)。「ファーブル昆虫館」は、「ジャン・アンリ・ファーブル」と、ファーブルの生まれ故郷の南フランスの自然や文化を紹介する昆虫館である。様々な昆虫の標本が、色々工夫、展示されており、地下には、南仏サン・レオン(Saint Leons)にあるファーブルの生家が再現、展示されている。ファーブルに関する奥本大三郎先生(館長)の翻訳・解説による「ファーブル昆虫記」や、各種の昆虫関連本、グッズ等も展示・販売されている。



3. 懇親会: 17:30~20:30



2つの昆虫館を楽しんだ後は、千代田線・千駄木駅近くの「和の居酒屋・月」にて懇親会。今回は、4-5回生(原田・臼杵)、21回生(中條)に加えて、40回生(山本)の初参加を得て大変盛り上がり、世代を超えた母校の思い出話や部活動についての情報交換、「カエルの会」(植物・昆虫愛好会)の運営・活性化等について有意義な意見交換ができた。(2017. 8. 27、臼杵記)。 🐸